

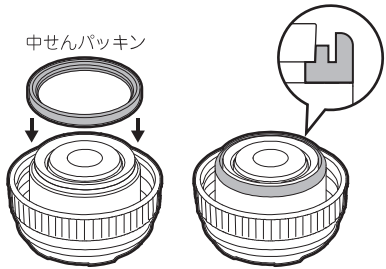
各パーツの取り付け方

正しく取り付けられていないと、
もれの原因となります。

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく
取りつける。

中せんパッキンの取り付け方

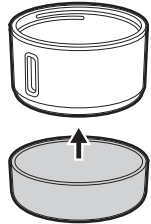
中せんパッキンは方向を
まちがえないよう、正しく
セットしてお使いください。
※逆にセットした場合飲み
ものもれたり、保温
(保冷)効果が低下する
原因となります。



外コップカバーの取り付け方

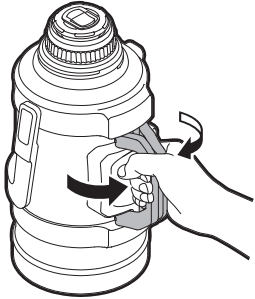
外コップカバーを外コップに合わせて
しっかりと取りつける。

※取りつける時は十分乾燥させてからおこなって
ください。サビや外コップカバーの抜け落ちに
よるけが、 やけど、破損などの原因になります。



注ぎハンドルの使い方

両側のハンドルをおこして持つ。



赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり
「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順で
お手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10%加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、
水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用
いただけます。
 - 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまら
ない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■中せん からもれる	中せんパッキンが正しく、 しっかり取り付けられていま すか。	中せんパッキンの取り付け位置 や方向、浮きがないことを確認し てください。
	中せんがしっかりとしまっ ていますか。	しっかりとめなおしてくださ い。
	中せんパッキンが汚れていま せんか。	「お手入れの方法」を参考にし お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていま せんか。	規定量になるまで飲みものを 減らしてください。
■湯 (本体内部・せん) がにおう	飲みものを長時間入れたま まにしたり、本体内部、中 せんセットや中せんパッキ ンに茶しぶなどの汚れが付 着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、 お手入れをしてください。汚れ が落ちにくい場合はクエン酸 をご利用ください。
■保温(保冷) が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みも のを入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを 規定量まで入れてください。

※中せん・中せんパッキンは消耗品です。
使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造
打ち切り後5年となっております。
その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店
もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求め
ください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)

- ① ホームページ……………トップページのオンラインショップからお求めくだ
さい。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店……………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せ
ください。
- ③ お客様相談窓口………お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名	
DXA型	コップセット(外コップ、内コップ)
DXA型	中せんセット(中せん・中せんパッキン)
DXA型	中せんパッキン
DXA型	外コップカバー

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

固定電話からはこちら

携帯電話からはこちら



0570-094891

06-6453-9489

※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
 - FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
- 製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・
電話番号・FAX番号を記入のうえ、お問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

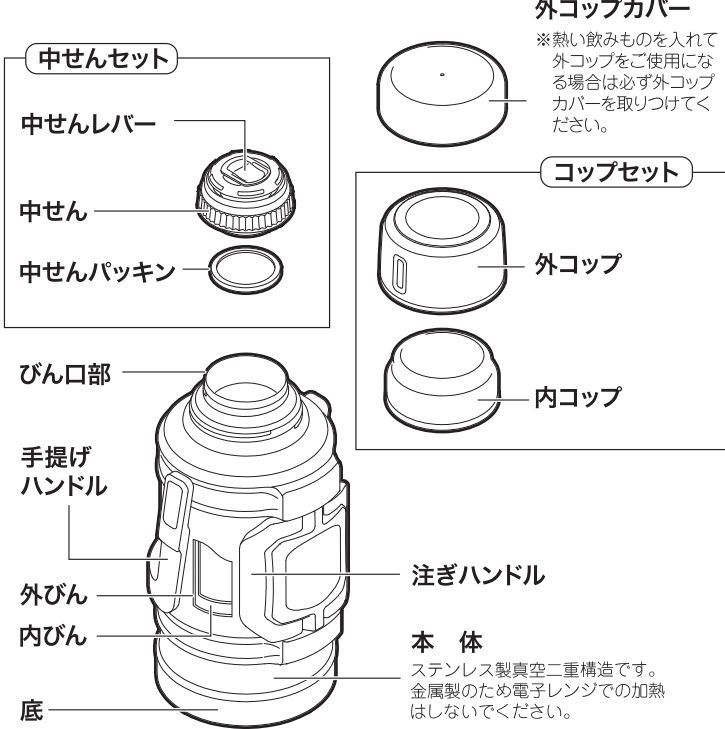
Peacock

コンテナボトル 取扱説明書

DXA 型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を
必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、中せんセットがあかなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を多く含んだもの**
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

- **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。**
やけど・けがなど危険。

- **熱いやかんをびん口部に触れさせない。**
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

- **飲みものは、規定量までにする。** 入れすぎるともれ・あふれ・やけどのおそれ。

- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変色・変形のおそれ。

- **倒したり、落としたり、ぶつかけたり、強い衝撃を与えない。**
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・飲みものがもれる原因。

- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。

- **中せんパッキンは必ずつけた状態で使用する。**
もれ・やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。

- **中せんセットは確実にしめて使用する。** もれ・やけどなどのおそれ。

- **熱いものを入れた直後、本体を振らない。** 内圧が急に上がり中せんレバーがあげにくくなったり、あける時、音がかかる場合があります。

- **製品の横置きは避ける。** 万一のもれや結露を防ぐため。

- **中せん・外コップを持って運ばない。** 落としてケガや破損の原因。

- **熱い飲みものをに入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら飲みものを注ぐ。** 急に傾けると飲み物が勢いよく出て、やけどなどのおそれ。

- **熱い飲みものを入れて長時間放置すると、内部が減圧され、中せんレバーがあげにくくなったり、あけるとき、音がかかる場合がある。**

- **熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、ティーバッグなどを使用する。** お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。

- **大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。

- **傾けた状態や顔の近くで中せんレバーをあけない。**
熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

- **かばんなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。

- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みもののもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

- **自動車運転中は使用しない。**
車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

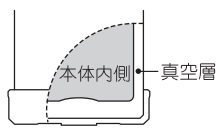
- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。● **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

- **手提げハンドルは中央部を持って運ぶ。**

- **手提げハンドルを持って振りまわしたり、強く引っ張ったりしない。**

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保温(保冷)効果が低下するおそれ。
真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



- **注湯(注水)操作後、製品を横置きした場合、また冷水を長時間保冷した場合に、中せんの注ぎ口から残留水滴や結露水がもれることがあり、他のものを汚す原因となるので注意する。** この場合は、中せんレバーを倒した状態で、注ぎ口を下にして本体を軽く上下にふって水滴を出す。

- **ご使用中、コップの裏側や中せん、びん口部に濡れたような水滴がつく場合がありますが、この症状は水もれではありません。水蒸気が凝結して水滴となる結露現象です。**

ご使用方法

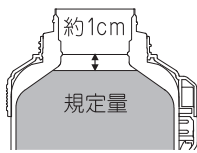
1 コップセット、中せんセットをはずす

外コップと中せんセットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 熱い(冷たい)飲みものを入れる

※熱い飲みものをに入れて外コップをご使用になる場合は必ず外コップカバーを取りつけてください。やけどの原因になります。
※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
※飲みものの量は図の規定量までにする。



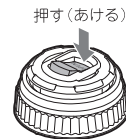
飲みものを入れすぎて中せんセットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。
入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、中せんセットをしめてください。

3 中せんセットをしめる

- ①中せんレバーの方向に関係なく最後まで確実にしめる。
- ②中せんセットをしめた後は、必ず中せんレバーが下がっているかを確認する。

4 飲みものを注ぐ

中せんレバーの「OPEN」を押し下げて注ぎハンドルを持って注ぐ。
※中せんレバーが「OPEN」の状態では傾けると、レバーの方向に関係なく360°どの方向からでも飲みものがでます。
※傾けたまま、中せんレバーを絶対に指で押し下げないでください。湯があふれ出ることがあります。
※中せんレバーの操作が堅くて押せないときは、無理やり下げないで一度中せんをゆるめて、レバーを指で押し下げ、そのまましめなおしてください。



5 注ぎ終わったら

- ①必ず製品を立てた状態で2～3秒してから中せんレバーの「OPEN」の反対側を押し下げる。
※注ぎ終わったら必ず、中せんレバーの「OPEN」の反対側を押し下げてください。中せんレバーがそのままだと、万一製品が倒れた場合に湯(水)が出たり、保温(保冷)効果が悪くなります。
- ②外コップは最後までゆっくり確実にしめてください。



お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側

湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞り、汚れを拭き取った後、乾いた柔らかい布で水気をふいて乾燥させる。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

外コップ/内コップ・中せんセット

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ置き洗いはしない。

中せんパッキン

中せんセットから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後 P.5 (パッキンの取り付け方)を参考にして、確実に取り付ける。(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

外コップカバー

外コップから取りはずし、ぬるま湯が水で丸洗いし、十分に乾燥させてから P.5(外コップカバーの取り付け方)を参考にして取り付ける。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- **塩素系漂白剤は使用しない。** サビ・穴あきなど故障の原因。
- **本体外側は漂白剤を使用しない。** サビ・塗装はがれのおそれ。
- **本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、中せんセットを取りつけない。** 本体の内圧が上がり、中せんセットが飛び出すなど危険。
- **シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。** 傷・サビなど故障の原因。
- **本体・中せんセット・コップセットの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。** 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- **本体の丸洗いはしない。**
- **長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。**